

1 章 総論編

1-1	デザインマニュアルの目的	3
1-2	対象サイン	4
1-3	課題と方針	8

1-1 デザインマニュアル の目的

千代田区内には、公共施設や観光施設への案内誘導サイン、観光施設にある歴史・文化を記した文化財サイン、路上喫煙や放置自転車を禁止するサイン等、多くの公共サインが設置されている。各サインは、所管課が異なるため、多言語表記等の表示内容やデザイン、配置等の一貫性や統一感が十分ではなく、区民や来訪者にとって必ずしも分かりやすいものとは言えず、また、サインを集中して複数設置している場所もあり、景観への配慮も必要な状況であった。

そこで、2020 年の東京オリンピック・パラリンピック開催を契機に、千代田区内に設置されている各種サインを、「風格あるまち千代田」にふさわしい統一感あるものに変更していくこととした。

本デザインマニュアルでは、統一感あるサイン整備を行うために、基本ルール（表記方法、文字サイズ、維持管理の考え方等）やデザインルール（形態、素材、色彩等）を定めており、区全体でより分かりやすい案内等ができるようにするとともに、千代田区らしい景観形成を図ることを目的としている。

1-2

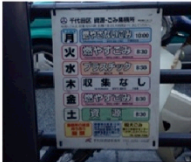
対象サイン

デザインマニュアルの対象は、下記 9 種別 35 アイテムのサインとする。下記アイテム以外のサインを設置する場合は、本デザインマニュアルを参考にすること。

種別		サインアイテム	
		サインの種類	
1 公園サイン	区立公園、児童遊園	1 解説サイン	
		2 総合禁止サイン	
		3 案内サイン	
		4 平板サイン	
		5 立て看板サイン	
	千鳥ヶ淵緑道	6 案内地図サイン	
		7 誘導サイン	
2 施設サイン	外構	記名サイン	8 自立型
			9 切文字型
			10 プレート型
		誘導サイン	11 自立型
			12 プレート型
			本庁施設内
	14 全館案内サイン		
	15 フロアマップサイン		
	16 受付案内サイン		
	17 室名サイン		
3 路上喫煙禁止サイン	床面サイン	18 プレート型	
		19 スプレー型	
	20 自立サイン大		
	21 自立サイン小		
	22 平板サイン		
	23 立て看板サイン		
	4 放置自転車禁止サイン	24 自立サイン	
		25 平板サイン	
		26 立て看板サイン	
	5 文化財サイン	27 標柱サイン	
28 説明板サイン			
29 その他文化財サイン			
30 ふるさと文化の散歩道コース 案内地図サイン			
6 道路通称名サイン	31 自立サイン		
	32 床面サイン		
7 ごみ集積所サイン	33 記名サイン		
8 広報板	34 広報掲示板		
9 観光案内板(総合防災案内板)	35 案内地図サイン		

設置形態	情報内容
本設	公園内の施設及び遊具を解説するサイン
本設	総合的な禁止事項を記載するサイン
本設	公園内の施設や禁止事項を記載する小型の自立サイン
仮設	壁面取り付けの平板にて、個別に禁止事項を記載するサイン
仮設	立て看板にて、個別に禁止事項を記載するサイン
本設	「千鳥ヶ淵四季の道」内の施設を案内する地図サイン
本設	「千鳥ヶ淵四季の道」内の施設を誘導するサイン
本設	施設名称を記載するサイン
本設	
本設	
本設	施設へ誘導するサイン
本設	
本設	入口設置の総合案内サイン
本設	EVホール等設置の全館案内サイン
本設	各フロアマップを記載するサイン
本設	受付記名サイン
本設	各室の記名サイン
本設	路上での喫煙禁止を記載するサイン
本設	
本設	
本設	
本設	
仮設	
仮設	路上での放置自転車禁止を記載するサイン
本設	
仮設	
仮設	文化財の解説サイン
本設	
本設	
本設	ふるさと文化の散歩道コースの案内地図サイン
本設	道路通称名を記載するサイン
本設	
仮設	ごみ集積所の記名サイン
本設	広報物を掲示するサイン
本設	周辺の案内地図を記載するサイン

種別	サインアイテム				
1 公園サイン 区立公園・ 児童遊園					
	1 解説サイン	2 総合禁止サイン	3 案内サイン	4 平板サイン	5 立て看板サイン
千鳥ヶ淵緑道					
	6 案内地図サイン	7 誘導サイン			
2 施設サイン 外構					
	8 記名サイン 自立型	9 記名サイン 切文字型	10 記名サイン プレート型	11 誘導サイン 自立型	12 誘導サイン プレート型
本庁施設内					
	13 総合案内サイン	14 全館案内サイン	15 フロアマップ サイン	16 受付案内サイン	17 室名サイン
3 路上喫煙禁止 サイン					
	18 床面サイン プレート型	19 床面サイン スプレー型	20 自立サイン大	21 自立サイン小	22 平板サイン
4 放置自転車 禁止サイン					
	23 立て看板サイン				
4 放置自転車 禁止サイン					
	24 自立サイン	25 平板サイン	26 立て看板サイン		

種別	サインアイテム			
5 文化財サイン				
	27 標柱サイン	28 説明板サイン	29 その他文化財サイン	30 ふるさと文化の散歩道コース案内地図サイン
6 道路通称名サイン				
	31 自立サイン	32 床面サイン		
7 ごみ集積所サイン				
	33 記名サイン			
8 広報板				
	34 広報掲示板			
9 観光案内板 (総合防災案内板)				
	35 案内地図サイン			

1-3

課題と方針

千代田区における公共サインの課題は、「デザインの不統一」「分かりにくさ」「景観への配慮不足」「メンテナンス不足」であり、各課題を解決するための方針を設定した。

課題

デザインの不統一

施設の種類、整備主体、整備時期によりサインのデザインが統一していないため、サインを認識しづらい。

分かりにくさ

- ・整備主体、整備時期により、多言語表記等の表示内容や表記の方法が異なる。
- ・設置位置が不適切（高すぎる等）で見つけにくい。
- ・サインが起点から目的地まで適切に設置されていない。

景観への配慮不足

- ・周辺景観よりサインの色彩が目立つ。
- ・サインが集中して複数設置されている。

メンテナンス不足

- ・植栽等でサインの近くに寄れない。
- ・経年劣化（錆、表示面の剥がれ等）により情報を読み取れない。

方針

1.デザインの統一化

形態、素材、色彩等のルールを設定し、千代田区の公共サインとしての統一性を確保する。

2.基本ルールの統一化

多言語表記等の情報の表記方法、掲出の高さ、配置等のルールを設定し、分かりやすいサインとする。

3.サインの集約化

近接するサインの集約の考え方を示すことで、千代田区らしい景観形成を図る。

4.維持管理の仕組み

適切な管理方法やメンテナンスの仕組みを作ることで、効率的なサイン整備を行う。